

KVK ワンストップ付シャワーヘッド 取り付け説明書・取扱説明書2

使用上のご注意

給水圧力が0.75MPaを越えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

ご使用方法 1

吐水切換方法

切換ハンドルをまわし、各表示と合わせて吐水切換をしてください。
 ※シャワーを出しながら吐水切換をおこなうと、切換操作が重くなる場合がありますので、その場合は止水してから切換えてください。

警告

シャワーには60℃以上の熱湯を通水させないでください
 器具が破損し、やけどをするおそれがあります。

ZS305(T)C [ストレート吐止仕様]



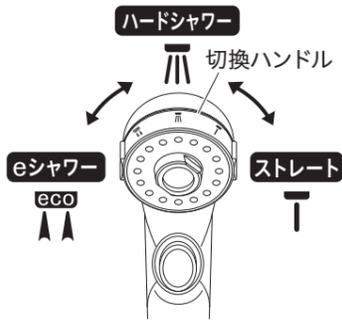
eシャワー
ソフトな浴び心地のシャワー



ハードシャワー
肌あたりの強いシャワー



ストレート
桶や洗面器へのお湯はりなどに



ZS305(T)M [ムーブシャワー仕様]



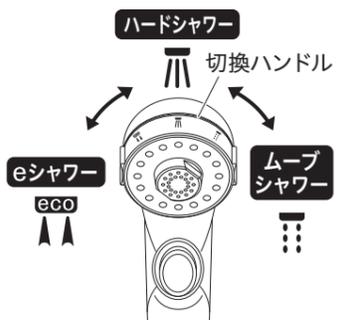
eシャワー
ソフトな浴び心地のシャワー



ハードシャワー
肌あたりの強いシャワー



ムーブシャワー
断続的な刺激のあるシャワー



日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

【軽い汚れの場合】
 汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】
 中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。

【使ってはいけないもの】
 水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

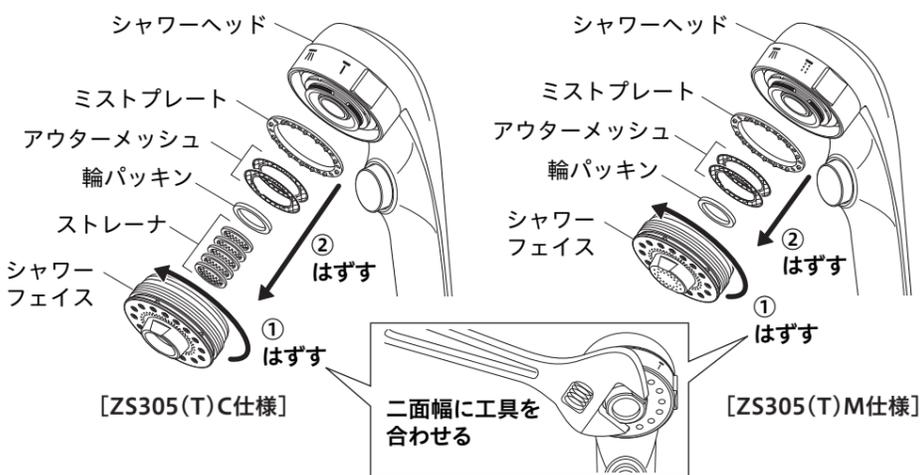


【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、製品に貼り付いているシールや文字やマーク等刷部分をこすらないようにしてください。

シャワーフェイスの清掃方法

シャワーフェイスが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、清掃してください。

- ① シャワーフェイスの二面幅に工具(モンキーレンチ等)をかけ、はずす方向に回して取りはずします。
[ZS305(T)C: ストレート吐水仕様の場合]
 ② ミストプレート・アウターメッシュ(2枚)・輪パッキン(1枚)・ストレーナ(5枚)をはずします。
[ZS305(T)M: ムーブシャワー仕様の場合]
 ② ミストプレート・アウターメッシュ(2枚)・輪パッキン(1枚)をはずします。



ご使用方法 2

一時止水方法

シャワー使用中、シャワー出止ボタンにて一時的に止水できます。

警告

必ず守る

- ・湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうかを確かめてから吐水してください
- ・一時止水使用後にシャワーを使用する場合は、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうかを確かめてから吐水してください

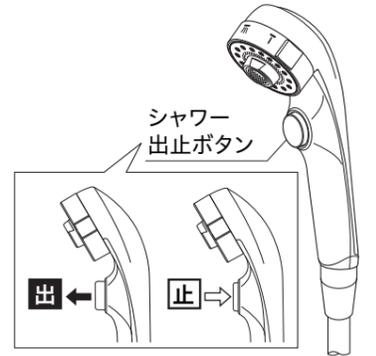
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また、吐水口とシャワーとの切換時に吐水温度が高くなる場合があります。

注意

必ず守る

使用後は、必ずシャワーを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください
 水栓本体のハンドルで止水しないと器具が破損するおそれがあります。

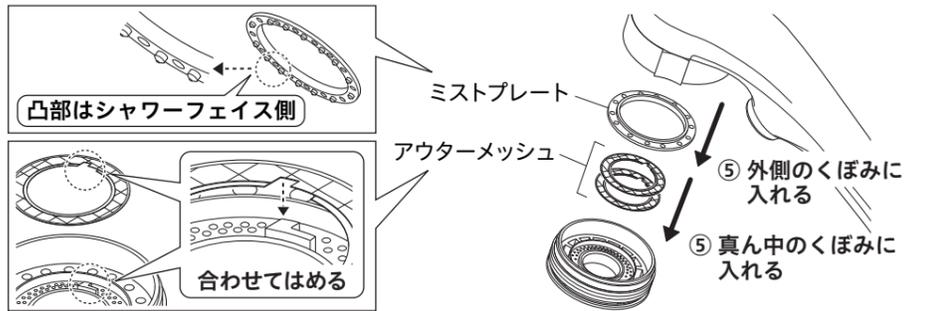
【止水後の水滴について】
 シャワーヘッドを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー使用後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



- ③ ストレーナ(5枚: ZS305(T)C仕様のみ)・アウターメッシュ(2枚)・ミストプレートをブラシで水洗いします。
- ④ シャワーフェイスの穴を安全ピンなどで水洗いします。



- ⑤ シャワーフェイスにアウターメッシュ(2枚)・ミストプレートを入れます。
 ※アウターメッシュの切り欠き部とシャワーフェイスの凸部が合うように入れてください。
 ※ミストプレートの凸部をシャワーフェイス側に向けて入れてください。



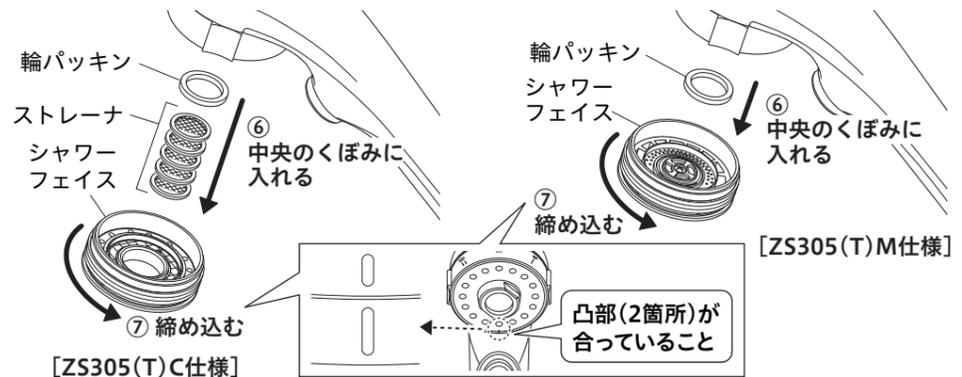
- ⑥ **[ZS305(T)C: ストレート吐水仕様の場合]** ストレーナ(5枚)・輪パッキン(1枚)を入れます。
[ZS305(T)M: ムーブシャワー仕様の場合] 輪パッキン(1枚)を入れます。
- ⑦ 工具を使ってシャワーフェイスが「コツン」と当たるまでシャワーヘッドに締め込んでください。切換ハンドルの凸部とシャワーフェイスの凸部が合っている状態が適切な締め付けです。

注意

禁止

- ・水洗いの際、アウターメッシュで手を切らないようにしてください
- ・シャワーフェイスを締め込みすぎないでください

破損するおそれがあります。



取り付け手順(イラストは参考図です)

シャワーヘッド本体の損傷を防ぐために、必ず減圧装置をシャワーエルボに取り付けてください。

- ※減圧装置を取り付けないと、シャワーヘッド本体が損傷するおそれがあります。
- ※シャワーエルボが付いていない水栓金具の場合は、本体シャワー接続部に直接減圧装置を取り付けてください。

シャワーヘッドの取り付け

シャワーエルボに減圧装置、シャワーヘッドを下記の手順で取り付けます。

- ① シャワーエルボに減圧装置を取り付けます。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

(シャワーエルボがない水栓の場合)

シャワーエルボは必要ありません。直接ねじ部へ減圧装置を取り付けてください。

- ② 減圧装置に既存のシャワーホースを接続します。

【お願い】 シャワーホースとシャワー接続パッキンは既存のものを使用します。

- ③ シャワーヘッドを取り付けます。

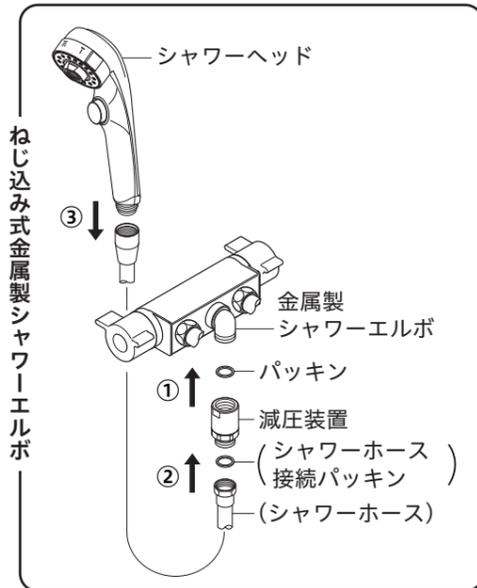
注意



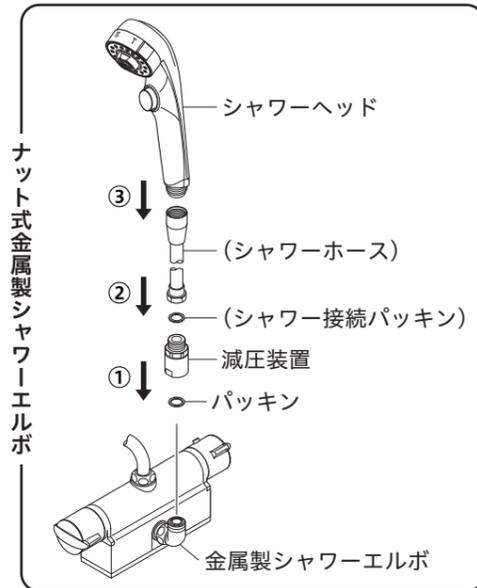
必ず守る

ヘッドをホースに取り付ける際は斜めに取り付けず、まっすぐ取り付けてください
ヘッドのねじ部は樹脂製のためねじがつぶれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。

- ④ 通水して、各接続部に水漏れがないことを確認してください。



ねじ込み式金属製シャワーエルボ



ナット式金属製シャワーエルボ

7 ページ

取り付け上のご注意

- ・最低必要水圧：A + 0.1MPa以上
A = 給湯器作動水圧 + 配管圧力損失
- ・2階へ給湯する場合、シャワーの流量が少なくなる可能性がありますのでご注意ください。

9 ページ

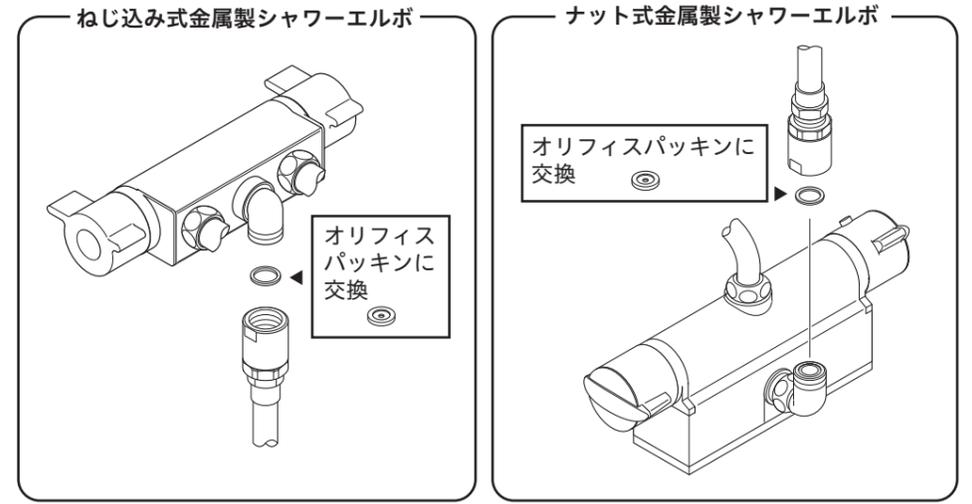
通水後、シャワーのウォーターハンマー音(水撃)が気になる場合は、パッキンの代わりにオリフィスパッキンをお使いください。

ウォーターハンマー音を低減します。

オリフィスパッキンを使用すると、シャワー吐水量は少なくなる場合があります。

※オリフィスパッキンは仕様により同梱されていない場合があります。

※オリフィスパッキンを使用する場合は、下図のパッキンと交換してください。

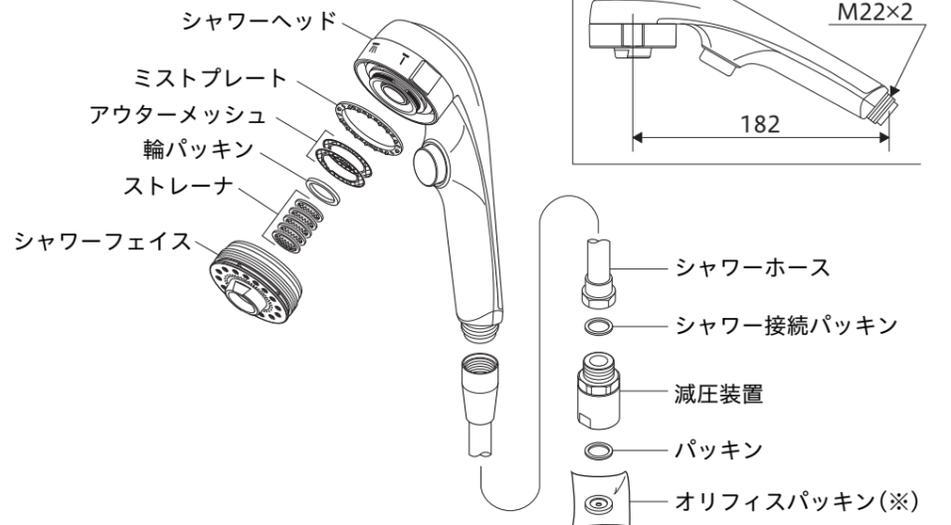


イラストは参考図です

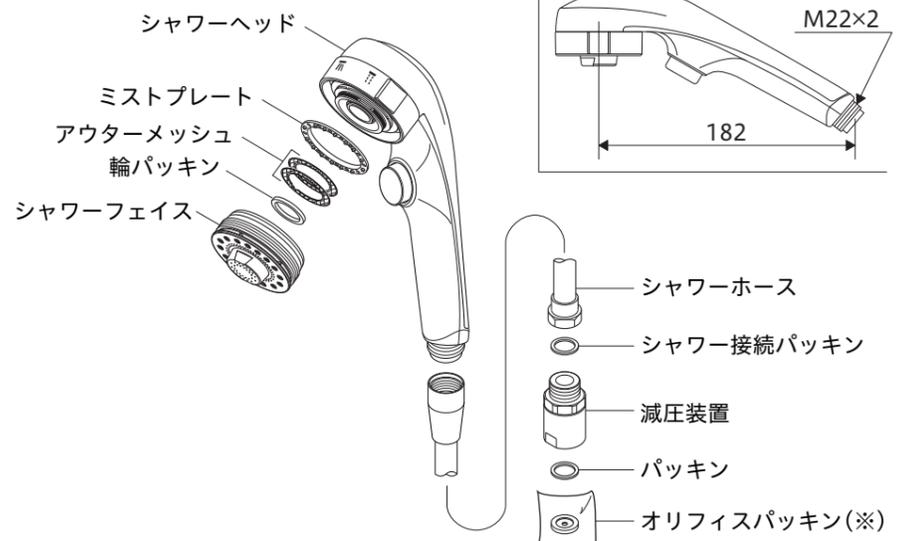
8 ページ

寸法図/分解図 (※オリフィスパッキンは仕様により同梱していない場合があります)

[ZS305(T)C仕様]



[ZS305(T)M仕様]



10 ページ

404330-00